

東北地方 1 か月予報

(3 月 2 4 日から 4 月 2 3 日までの天候見通し)

平成 1 9 年 3 月 2 3 日
仙台管区气象台発表

< 特に注意を要する事項 >

期間の前半は気温の変動が大きいでしょう。一時的な寒気の影響でおそ霜のおそれがありますので、農作物の管理には注意して下さい。

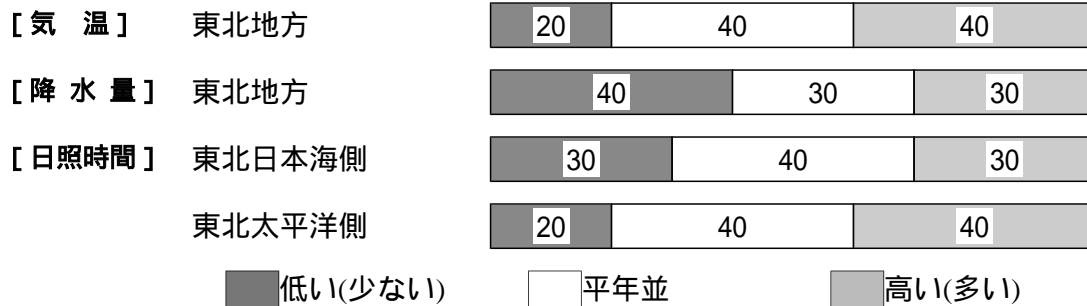
< 予想される向こう 1 か月の天候 >

向こう 1 か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側では平年と同様に晴れの日が多く、東北太平洋側では平年に比べて晴れの日が多いでしょう。期間の前半は気温の変動が大きいでしょう。一時的な寒気の影響でおそ霜のおそれがありますので、農作物の管理には注意して下さい。

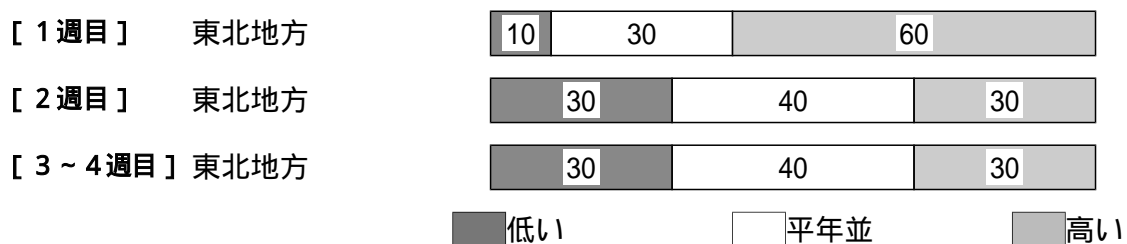
向こう 1 か月の平均気温は、平年並または高い確率がともに 4 0 % です。日照時間は東北太平洋側で平年並または多い確率が 4 0 % です。

週別の気温は、1 週目は高い確率が 6 0 % です。

< 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) >



< 気温経過の各階級の確率 (%) >



< 予報の対象期間 >

1 か月 : 3 月 2 4 日 (土) ~ 4 月 2 3 日 (月)
1 週目 : 3 月 2 4 日 (土) ~ 3 月 3 0 日 (金)
2 週目 : 3 月 3 1 日 (土) ~ 4 月 6 日 (金)
3 ~ 4 週目 : 4 月 7 日 (土) ~ 4 月 2 0 日 (金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 3 月 3 0 日
3 か月予報 : 4 月 2 5 日 (水) 1 4 時

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温()		
				1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
青森	6.4	65.1	183.3	3.7	5.4	7.6
深浦	6.8	95.8	170.0	4.3	6.0	8.0
むつ	5.7	81.5	189.9	3.1	4.8	6.8
八戸	6.7	57.6	193.6	4.1	5.8	7.8
秋田	7.6	116.4	174.0	5.0	6.7	8.9
盛岡	6.6	95.4	175.3	3.7	5.5	7.9
大船渡	7.5	133.6	176.4	5.0	6.6	8.6
宮古	7.1	98.0	192.3	4.6	6.3	8.2
仙台	8.6	95.1	191.2	6.0	7.6	9.7
石巻	7.7	90.0	194.6	5.3	6.8	8.8
山形	7.9	69.2	173.7	4.9	6.7	9.3
新庄	6.3	107.3	146.2	3.4	5.0	7.6
酒田	8.3	108.2	167.8	5.8	7.3	9.5
福島	9.5	84.3	188.8	6.6	8.3	10.8
若松	8.0	68.5	168.3	4.9	6.7	9.4
白河	8.1	101.1	185.5	5.2	7.0	9.4
小名浜	9.7	131.4	186.6	7.5	8.9	10.7

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971 ～ 2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4 ～ +0.4	84 ～ 113	96 ～ 104
東北日本海側	-0.4 ～ +0.4	87 ～ 109	96 ～ 105
東北太平洋側	-0.3 ～ +0.4	79 ～ 116	96 ～ 104

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.5 ～ +0.6	-0.5 ～ +0.6	-0.4 ～ +0.3
東北日本海側	-0.6 ～ +0.6	-0.6 ～ +0.7	-0.5 ～ +0.4
東北太平洋側	-0.6 ～ +0.6	-0.5 ～ +0.7	-0.4 ～ +0.3

< 参考資料（利用上の注意） >

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971 ～ 2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ 33 %）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10 % 以下や 60 % 以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30 %、40 %）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。